

東京桑野会の ホームページができました!

ホームページ委員会

<http://www.tokyo-kuwano.com/>

2003年(平成15年)3月1日(土)

グランドオープン!!

アクセスしよう、こちらまで

東京桑野会の会員の皆様、お待たせしました。毎年予算計上していたにもかかわらず何もできず時間だけ経過しておりましたが、計画からなんと丸4年、やっと東京桑野会のホームページがグランドオープンしました。今すぐアクセスして下さい。まだ初期計画の80%くらいの出来ですが、けっこう動きます。名づけて「東京桑野会ホームページ Ver.1.00」。今回会報の紙面をお借りしまして、簡単に紹介させて戴きます。

首都圏在勤・在住に係わらず、全国と同窓生や在校生の皆さんに開放しておりますのでご利用下さい。

ホームページの構成・機能

現在公開中のホームページの構成と機能についてご説明します。

まずアクセスするとオープニングの頁が開きます。母校合唱部による校歌・応援歌を聞きながら、旧本館の四季折々の写真をスライドで見ることができます。次に進むと、ご覧のようなTOP頁メニュー画面が出ます。(図-1 参照)

紫の帯は、東京桑野会の紫旗をイメージし安中・安高の校章を中央に配置しました。機能ボタンは3つで、その他に「What's New」のニュースを見る機能を付加しています。東京桑野会の頁は、文字通り東京桑野会自身の沿革・会則・役員名簿と古川会長のご挨拶を掲載しました。会報や年総会等の行事・決算報告なども確認できます。年に1度の更新をかけていきます。

堅い話はいやだという会員の方は、二番目の会員親睦の頁をご利用下さい。会員皆様の親睦のためにいろいろ

工夫しました。まだまだ完成という訳ではありませんので、今後も改善していきたいと思えます。皆様のご意見、ご希望をどんどんお寄せ下さい。新ネタが集ってくる頁にしたいと思えます。

三番目のボタンは、桑野会からのお知らせとホームページ委員会の頁になっています。ホームページ利用上の注意事項もここに書いてあります。必要に応じて連絡事項等を掲示しますので、時々見て下さい。

中央より下(写真の下)部分には、母校安積高校ホームページへのリンクボタンと郡山本部の安積桑野会ホームページへのリンクボタンがあります。安積桑野会のボタンの右に3つのリンクボタンがありますが、それぞれ安積歴史博物館の頁/会員登録・変更の頁/安積桑野会掲示板へつながっています。ご利用下さい。このリンクは東京桑野会の外に出ますので、別ウィンドウで開きます。リンク先では、それぞれのサイト管理者に従ってご利用下さい。

壁紙を良く見て下さい。うっすらとですが、安中・安高の校章を貼っております。

会員親睦の頁について

会員親睦の頁について少し詳しく説明します。会員親睦の頁のメニュー画面をご覧ください。(図-2 参照)

掲載内容の異なる掲示板を4種類準備しました。4種類とも完全オープン形式ですので、どなたでも閲覧・掲示(記入)することができます。少しずつ使い方が違いますので、初めてお使いになる方は右端の説明を読むボタンを押して下さい。

最初の掲示板は、「求む安積の情報

／あげる安積の情報」と題しまして、広く情報を募りまた意見を交換する場としました。在校生への問いかけで「今〇〇部はどんな活動をしているの?」とか、同窓生向けに「〇〇期△△年卒の□□君の消息を捜しています。」とか、逆に安積の情報を「こんなことがありました…」と報告して頂いても結構です。2番目の掲示板は社会人・OB向けの会員相談室です。3番目の掲示板は学生向け(在校生を含む)の相談室で、進学や就職等を諸先輩に相談する頁です。どちらも無回答とならないよう、ホームページ委員会側で一次回答者を準備させて頂きます。これに基づき、回答の環が広がっていければ良いと考えます。

4番目の掲示板は、文字通り先輩・後輩・同級生とおおいに語り合い/遊ぼうを目的に、インターネットを越えて集って頂ければ最高だと思います。これら4種類のジャンルに留まらず、自由に書いてもらえれば結構です。一番下に、安積関連リンク集のボタンを付けました。リンク集の頁に飛んでいきます。まだリンクの数が少ないですが、ご希望があれば事務局までご連絡下さい。

会員親睦の頁は、今後もコンテンツを見直しながら充実させていきたいと考えています。一昨年女子生徒が入学し、東京桑野会にも来年は女子会員が誕生することになります。女性向けのコンテンツも必要になってくるでしょう。そう考えると楽しみがたくさんあるようで、なんだかウキウキ・ワクワクしてきませんか。

安積桑野会本部とは別のホームページ

安積桑野会は全国と同窓会の総本山といったところです。東京桑野会は首都圏在勤・在住者のための同窓会で独立した機構となっており、当ホームページも完全に独立して設置・運営されています。

そのため当ホームページの主旨も本部のものとは違ったカラーを出そうと思っています。いくつか下記しますが、当然会員の皆様で作るということが大前提であり、運営には会員の皆様のご意見を取り入れていきたいと考えています。

基本的には東京桑野会のホームペー

ジであり、すなわち首都圏同窓生のために設定されている点。母校行事や母校に関するニュースは、基本的には本部の安積桑野会のホームページで優先掲載して戴く考えである点。会員間の親睦のために、同級生・同窓生の相互の連絡に使用して頂きたい。そのため、親睦の頁に4種類の掲示板を準備した点です。会員の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

おわりに

東京桑野会のホームページは会員の皆様で作るページです。安積という共通の土壌で育ち共有の質実剛健の精神を持つ同窓生の仲間が、年齢や経歴を越えて連絡し合い親睦を深めさらに強い絆で結びついていくための道具のひとつとして、このホームページが少しでもお役に立てれば幸いです。かわいがってあげて下さい。よろしく願い致します。

最後に本ホームページ作製にご協力頂きました、斉藤幹事長を始めとする開設準備委員会各委員にはたいへんご苦勞をおかけしました。厚く御礼申し上げます。また、引き続きホームページの運営管理委員に移行しておりますがボランティアにもかかわらずご面倒をおかけします。ホームページ運営におきましてもまだまだご苦勞をおかけしますが、今後ともよろしく願いします。

(2003.1.14 Tue.)

**東京桑野会の
ホームページができるまで**
芳賀 雅美 (86期)

作製は目白の居酒屋から始まった

昨年5月24日(金)の東京桑野会総会の後、筆者の同級生(86期理数科)8名は、ながれで目白駅近くの居酒屋二階座敷に席を移しました。特別に示し合わせた訳でもないのに、あとから斉藤幹事長・櫻井副幹事長をはじめとする幹部の方々か100期以降を含む超若手を数名引き連れ、何と同じ店に来たのです。彼らはまとまった席が取れず、一階と二階に別れて櫻井副幹事長が若手を引き連れ二階座敷に上がってきたところ、我々を見つけ合流することになってしまったのです。



図-1 ホームページTOPメニュー画面

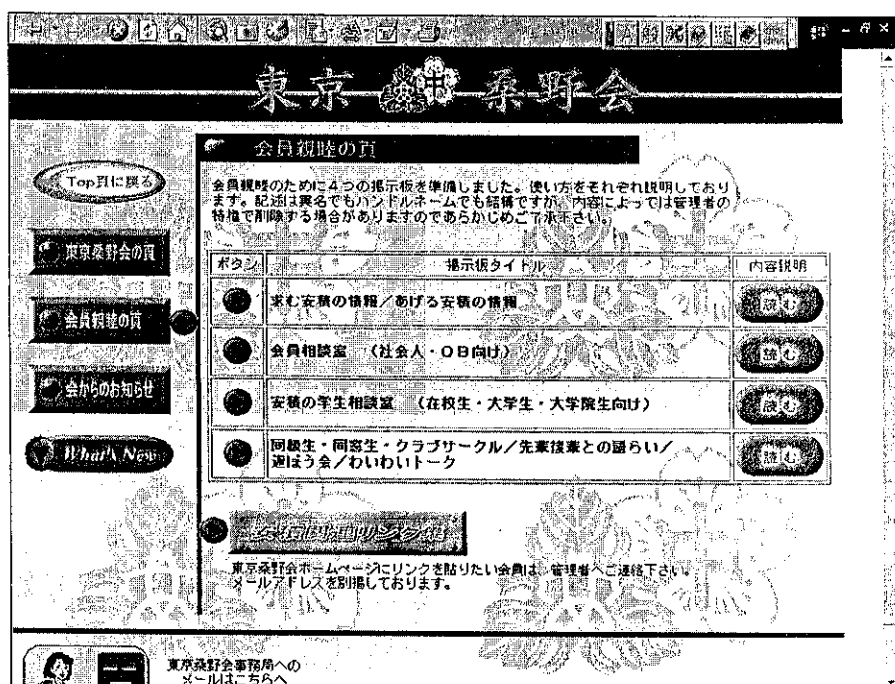


図-2 会員親睦の頁メニュー画面

そうです。超若手も参加したこの2時間程の二次会から、ホームページ作成が始まったのです。毎年予算計上しているのになぜできないの？ それでは安積を愛する我々で作っちゃえということで、ささやかな居酒屋の席で開設活動が宣言されました。

最初は楽しく和気あいあいと

7月31日の第一回委員会は結団式の様相が強く、まだホームページ作成の困難さが全く見えない中で、公開時期

だけ2003年3月1日に決めました。しかしながら9月6日の第二回委員会からは、実際のホームページをイメージしながら完成までにやるべき項目を上げていったのですが、とたんに壁。おい、これ自分達で全部仕上げるの？ ととてもじゃないけどできないぜ。だけど作製を外部に頼んだら、100万円くらいすぐかかっちゃうよ。外注予算なんてあるの？

櫻井副幹事長の「よし、みんなで手作りしよう」の言。決断が下されまし

た。

全部自分達の手づくり

ホームページ作成というもの、プログラムを組むのは最後の仕事。もっと重要なことは、シナリオ作成とコンテンツ選びです。こればかりは、外注もできません。

次は各ページのデザインと機能ですが、会員にウェブデザイナーはいないかなど、捜しましたがうまく見つかりません。

手探り状態の中、11月7日の第四回委員会でシナリオとコンテンツが決まり、初回公開時のサイトマップを完成させました。引き続きページの作成に入り、心臓部の会員親睦の頁を除いて、11月15日の夜には最初のプロトタイプを関係者に公開したのです。それなりに自信作でした。

会員親睦の頁の作成は困難でした。いかに興味を持って参加してもらうかというシナリオ策定をネット投稿ベテランの渡部君(91期)、CGIプログラムは最も若い稲垣君(106期)に頑張ってもらいました。

本格的にプログラムが始まったのは年明けでした。もちろん資料や写真の収集とデジタル化、原稿のワープロ化、プログラムの修正、作動確認といった裏方の細々とした仕事も手分けし、皆様昼間の本職の合間を縫いながら全くのボランティアで黙々と作業をして頂いたのがとても良かったのです。

ここで、まだ名前を出していない準備委員のメンバーを紹介しておきます。坂本先生(86期)、富山君(91期)、開発・検証用のサーバを無償提供してくれた西田君(91期)、IT技術力抜群の川前君(102期)、雑用にもいやな顔せずこまめに働いてくれたみんなありがとう。もちろんコンピュータなんて判らないと言いつつ、全体をまとめて頂いた斉藤幹事長と若手を引っ張って頂いた櫻井先輩にもたいへんお世話になりました。

グランドオープンまでたどり着きました。が会員の皆様、未熟な点は訂正し、不満な点は是正し、育てていって下さい。

(東京桑野会ホームページ委員会委員長 出光石油化学(株))

インターネットで 安積

渡部 良朋 (91期)

東京桑野会HPが開設されたのを記念して、「インターネットで安積」をちょっと解説してみつかない(開設と解説をかけることなんて、面白い←どこが!)。2001年1月31日深夜、私はインターネットで「安積高校」が関連するサイトを必死になって検索したの(語尾は郡山弁です、念のため)。それは、選抜甲子園の21世紀枠で、安高の悲願の甲子園出場が決まったことを知ったから、です。この時から、私の「インターネットで安積」が始まったの(ない)。

サイト検索の結果、「電脳紫旗」のHPが引っかけ、それにリンクしてあった「安積 甲子園への道」のHPにたどりついたの(ない)。このHPはコンテンツが充実しており、中でも「みんなの応援、情報掲示板」は、かなり人が見えます。安積関連HPの「老舗」ともいう存在で、通称「紫掲示板」つつうの(ない)。私も、「甲子園出場」前後までは、ROM(Read Only Member)していたが、様々な話題があがる掲示板の面白さに我慢しきれなくなって、書き込みを行うようになったの(ない)。紫掲示板にアクセスする安積関係者は多く、リンクも張られています。それを辿ったりして、多くの「インターネットお友達」が出来たの(ない)。

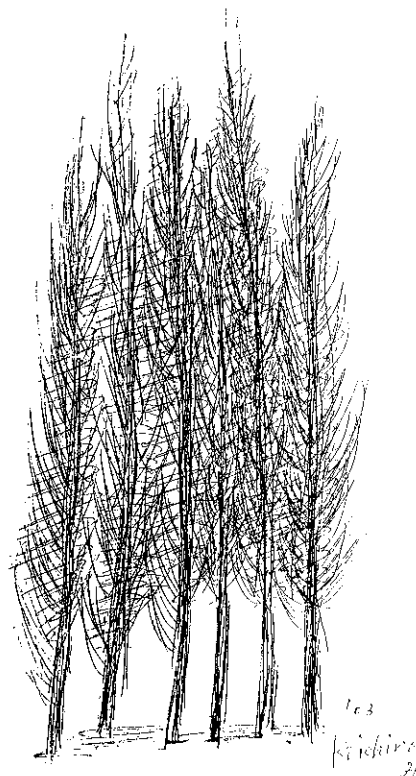
安積にとって、「校歌」と「応援歌」は宝。んだばい!(強く、うなずく)。甲子園での大応援に参加した後に、自宅に戻ってからビデオを見たの(ない)。びっくらしたの(ない)。素晴らしい応援だった。5回の攻撃の時なんか、本当に鳥肌がたつくらいにスバラしかった。この大応援は、歴代応援団幹部の方々の力に依ることが多かったですね。そこで、紫掲示板、なの(ない)。応援団幹部OBの方が、何名も常連でいらっしゃる。その方たちが中心となつてのOFF会(インターネットを離れての飲み会だから“OFF会”)が定期的に開かれ、それは「25日会」と呼ばれています。そう、2001年3月25日を記念しての(ない)。その会に何度か参加させてもらったの(ない)。面白えぞ

い、皆さんも来てみっせ!

応援団幹部OB会の名称は「紫魂会」と言うそうです。その紫魂会メンバーが遊んでいるヒ・ミ・ツの掲示板があんのない(紫魂会の、非公認HPだそうです、笑)。わらしも交えてもらって、遊んでもらってマス。やっぱ、安積の伝統を創ってこられた面々である、深い、深すぎる…。書込みの内容は、真面目なところでは「安積の応援を考える」ものやら、楽しいところでは「ぼっこわれオヤジたちの言葉遊び」などなど。んっ、言葉遊び? とてもじゃないけど、ここでは書けません…。同じく部外者ながら交えてもらっている91期同期の村木修君(91期生徒会長、現公立藤田病院泌尿器科長)が、自分のことを言ったHN(ハンドルネーム)など、うっ、とても書けない、搔けなかつたら「しゅじい」ではありませーん(注;この意味が分かるのは、地球上には、その「ヒミツの掲示板」の住民しかおりません)。

東京桑野会HPも出来たぞい、んだばい、安積を想う皆様、遊びにきつせ!

(財)電力中央研究所
生物科学部 上席研究員)



画:宮本興一郎(71期)